

## 令和5年度 第1回養老町地域消費活性デジタル化推進委員会議事録

日 時：令和6年3月27日（水） 10時30分～  
場 所：養老町役場 4階大会議室

### 【事務局】

皆様、こんにちは。

定刻より若干早いですが、本日、会議にご参加の皆様お揃いでございますので、始めさせていただきますと思います。

本日は、ご多用中にも関わらず、養老町地域消費活性デジタル化推進委員会にご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

会議に先立ちまして、町民憲章の朗唱をお願いしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。

前段を私が読み上げますので、後段をご唱和願います。

－「町民憲章」の朗唱－

### 【事務局】

ありがとうございました。ご着席ください。

本日、進行及び説明を努めさせていただきます、産業建設部参事の竹中と申します。よろしくお願ひ致します。

昨年度は、養老町地方創生推進委員会にて、養老 Pay に係る事業のご説明をさせていただきました。

本年度については、本委員会を新たに立ち上げ、養老町におけるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みについて、ご審議いただくこととさせていただきます。

本委員会の委員選任について、昨年度ご報告させていただきました、養老町地方創生推進委員会の委員の皆様、本委員会委員の就任をご依頼させていただきました。皆様には、委員に就任いただくことを承諾いただき、誠にありがとうございます。

また、本委員会は、養老町地域消費活性デジタル化推進委員会設置要綱に基づき実施させていただきます。要綱の内容については、お手元に配布の資料のとおりとなりますので、ご説明は省略させていただきます。

はじめに、養老町地域消費活性デジタル化推進委員の辞令がございます。本来でしたら、お一人おひとり辞令をお渡しするのが本意ではございますが、お時間の都合上、お手元に配布させていただいております。何卒、ご了承ください。

また、本日は、「養老 Pay」を活用した Smart Town YORO Project にて業務を受託いただきました事業者の方にも出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

－事業者の紹介－

~~令和3年度より養老 Pay アプリ構築などの業務を受託していただきました~~

~~GMO ペイメントゲートウェイ株式会社第3営業統括部金融第1営業部 エグゼクティブ・リーダー 堤 和成 様~~

~~株式会社電通総研スマートシティセンター副センター長兼サステナビリティソリューション部長 森田 浩史 様  
スマートシティセンターDX推進部長 岡田 実 様  
サステナビリティソリューション部所属、本事業のプロジェクトマネージャー 千葉 勇志 様  
DX推進部所属 本事業の担当営業 西川 由祐 様  
大垣共立銀行 ローカルCoプロジェクト マネージングディレクター 大里 裕幸 様  
大垣共立銀行 養老支店支店長 鹿島 清一郎 様  
大垣共立銀行 IT統轄部調査役 立松 良夫 様  
信州大学キャリア教育・サポートセンター講師 勝亦 達夫 様  
また、本調査に協力いただきました、信州大学の学生の方々にも参加していただいております。~~

以上で本日出席の事業者の方のご紹介とさせていただきます。

それでは、委員会に入らせていただきます。

本日は、21名の委員様のうち18名の委員様にご出席をいただいております。養老町地域消費活性デジタル化推進委員会設置要綱第5条第2項に、“委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない”と規定されていることから、本日の会議は成立しましたことをご報告致します。

それでは、令和5年度 第1回養老町地域消費活性デジタル化推進委員会を開催させていただきます。

なお、議事録作成のため、本日の委員会は録音させていただきますのでご承知おきください。

はじめに川地憲元 養老町長より挨拶を申し上げます。

#### 【町長】

改めまして、皆様、おはようございます。年度末の大変お出にくい時間帯にご出席いただきまして、ありがとうございます。

また、町行政各般に渡りまして、それぞれの立場でご尽力いただいております。ありがとうございます。

まず、1月1日におきました能登半島地震でございますが、240数名の方がお亡くなりになられ、今なお避難所生活余儀なくされている方がおみえになります。町内の各団体の皆様におかれましては、それぞれの立場で義援金等ご支援をいただいております。ありがとうございます。職員も延べ42人ほど被災されてから被災地の方に派遣をさせていただいております。人道的支援ということで、今日の我が身として捉え、町としても支援をしてみたいと考えております。

今日は第1回目の養老町地域消費生活デジタル化推進委員会ということで、昨年まではまち・ひと・しごと創生総合戦略の地方創生推進委員会の中で事業の評価、検証を行いながらPDCAサイクルを回し事業の推進を図ってまいりましたが、本事業はデジタル田園都市国家構想に基づいた、様々な交付金を活用させていただいております。

やはり、別で検証委員会を立ち上げて実施する必要があるということで、事務方とも協議しながらこういった形で進めさせていただいております。

養老町も「養老町DX推進計画」を策定しておりますが、やはりキャッシュレス化の普及というものが課題に挙げられておりますので、それらをクリアしていきたいと考えており、高齢化社会の中でデジタルデバイド対策などもしっかりと実施していく必要があると思っております。

~~本日は受託事業者のGMOペイメントゲートウェイ株式会社様、また、電通総研株式会社様、そして目頃からお世話になっております大垣共立銀行様、そして信州大学の先生をはじめ学~~

~~生の方々、富山大学の方々も先ほどお見えになるとお伺いしておりましたが、受託事業者様などのお力もお借りしながら進めていく事業でございます。~~

養老 Pay については横展開を行っておりますが、なかなか課題等も多い事情でございますので、近隣市町からも注目をされている事業でございます。しっかりと検証しながら、今日は様々な課題の中で、地域消費活性デジタル化の事業の概要や普及に向けた取り組みについて、皆様方のご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思います。

最後までよろしくお願いをいたしまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

ありがとうございました。会議の性質上、町長はここで退席させていただきます。

—町長退席—

#### 【事務局】

本日の会議では、「養老町におけるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みについて」及び「調査活動の報告について」ご審議いただきます。

忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本日の資料のご確認をお願いいたします。

本日の会議次第がございます。裏面に、委員名簿がございます。

また、本日、配布いたしました資料として、養老町地域消費活性デジタル化推進委員会設置要綱、資料1として養老町におけるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みについて、資料2として調査活動の報告について、資料3として今後の方針について、がございます。万が一、資料がないようでしたら、挙手にてお知らせください。

### 協議事項（1）

#### 【事務局】

それでは、協議事項に入らせていただきます。

はじめに、協議事項（1）、委員長及び副委員長の選任をお願いしたいと思います。養老町地域消費活性デジタル化推進委員会設置要綱第4条の規定によりますと、委員会に委員長及び副委員長を各1人置くことになっております。それでは、この委員会の委員長について、どのような方法で決めさせていただいたらよろしいかお諮りします。

#### 【委員】

事務局一任

#### 【事務局】

ただいま、事務局一任というご発言がありましたので、事務局より提案させていただきます。

本事業について、昨年度は、養老町地方創生推進委員会にてご報告させていただきました。

これまで地方創生推進委員会にて委員長のご経験がある、岐阜大学の~~大宮~~先生が良いかと思いましたが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし

【事務局】

ただいま、異議なしとのご発言をいただきましたが、その他ご意見はございませんか。

【委員】

なし

【事務局】

それでは、委員長様は~~大宮 康~~様をお願いしたいと思っておりますので、~~大宮~~様、お手数ですが資料をお持ちいただき、前の委員長席へお移りいただきたく存じます。ここで、委員長様より一言ご挨拶をいただきたく存じます。~~大宮~~様、よろしく願いいたします。

【委員長】

皆様、改めましておはようございます。~~ただいまご指名をいただきました、岐阜大学地域協力センターから参りました大宮と申します。~~

昨年度、養老町の地方創生推進委員会の委員長を務め、今回も大変大役を仰せつかりまして、皆様のご意見を活発に引き出せるよう、また、この会が町の取り組みの1つとなるよう努めてまいりますので、よろしく願いします。

~~また、今回は信州大学の皆様、富山大学、金沢大学の学生の方々もいらっしゃって取り組みも聞けるということで大変楽しみにしております。~~皆様の忌憚のないご意見等頂戴したいと思っておりますので、何卒よろしく願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、副委員長について、どのような方法で決めさせていただいたらよろしいかお諮りします。

【委員】

委員長の指名が良いかと思えます。

【事務局】

ただいま、委員長指名というご発言がありましたが、どなたかご意見はございますか。

【委員】  
異議なし

【事務局】  
それでは、副委員長については委員長の指名にて決定することとさせていただきます。委員長~~の夫宮~~様、どなたか指名をお願いいたします。

【委員長】  
それでは、僭越ながら指名させていただきます。養老町議会 議長~~野村委員~~をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】  
異議なし

【事務局】  
ただいま異議なしとご発言がございました。それでは、~~副委員長様、に野村様をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。野村様、~~お手数ですが資料をお持ちいただいて、前の副委員長席へお移りいただきたいと存じます。  
ここで、副委員長~~様~~より一言ご挨拶をいただきたいと存じます。~~野村様、~~よろしくお願

【副委員長】  
改めまして、おはようございます。~~ただいまご指名をいただきました野村 永一です。夫宮~~委員長の補佐をさせていただき、当委員会の進行に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

【事務局】  
ありがとうございました。それでは、ここからの進行は、~~夫宮~~委員長をお願いしたいと思います。皆様のご協力により、議事がスムーズに進みますようお願い致します。

## 協議事項（2）

【委員長】  
それでは、次第に沿って進めたいと思います。協議事項（2）の「養老町におけるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みについて」説明をお願いします。

【事務局】  
(資料1に沿って説明)

**【委員長】**

説明が終わりました。何か質問等がございましたらお願いします。

では、私から少しご質問を差し上げたいと思います。

今回の養老 Pay をプラットフォームに様々なところで活用できる、拡大をしていきたいという取り組みですが、例えば地域医療、医療機関との連携というのは今後、町内外で必要になってくると思いますが、医療機関に展開をしていきたいという計画はございますか。

**【事務局】**

医療機関との連携について、Smart Town YORO Project の概要をご説明させていただきましたが、今回、ヘルスケア部門で YORO 健康通帳というものを構築しております。こちらの内容でございますが、住民の皆様健康活動、健康増進の取り組みに繋げていきたいと思っております。その上で、住民の皆さんの行動変容を促していきながら、大きな目標としましては、養老町の医療費の適正化へと繋げてまいりたいと考えております。

また、こういった健康通帳から得られる健康活動のデータや、医療費、これらの相関などが見えてくるようになれば、医療費削減の取り組みにも繋げていくことができるということで、今後、データの活用も含め、取り組んでいきたいと考えております。

**【委員長】**

ご説明ありがとうございました。その他ご質問等ございますか。

**【委員】**

養老町の人口減少について、やはり根本的に考えないとどうしようもないかと感じます。先日、ネットのあるニュースでは、日本よりもっと少子化が進んでいる韓国のインチョンが、子どもが一人生まれたら1億ウォン出すと言っていました。日本円にすると1千万円程度ですが、それぐらいやらないとどうしようもないのではないかという気がします。ご高齢の方がお亡くなりになる一方、少子化が続くので、考えていかなければ養老町が「住みやすい町」と掲げる以上、それをやらなければいけないと感じています。

また、養老 Pay について、町外からお金を取り込まなければならないと思います。町内でお金を回すというのはあまり得策ではない気がします。とは言え、町外からデジタルとしてお金を取り込むというのは難しいと思います。その辺りの根本なところを考えなければ先に進めない気がしますが、いかがでしょうか。

**【委員長】**

貴重なご質問ありがとうございます。まず、少子化の対策につきまして、なかなか難しいかと思いますが、まずはご回答をいただければと思います。

**【事務局】**

人口減少についての問題は、とても減少しているということは分かっているかと思いますが、増やそうという話は当然、養老町だけではなく、もはや日本全国の話になりますので、様々な機関で考えられていることを進めていくしかないのかと思っています。お金を出せば増えるのかどうかもわかりませんが、これ以上減少していく数を少なくすると

いうことはできるのではないかと考えておりますので、そういった取り組みも含め事業として展開していきたいと思っております。

回答となっていないところもあり申し訳ありませんが、難しい問題なので私の一存で何かするということはできませんので、これをもって回答とさせていただきます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。人口減少につきましては、今回の養老 Pay というものは、あくまでも取り組みの1つということ、様々な側面から少子化対策をしていかなければならないということですので、事務局からご説明がありましたように、難しいことですが、人口減少に抗う対策というものを継続してしっかりと行っていくということで、その1つとして養老 Pay が位置づいていると解釈しております。

また、インチョンの話は私もよく存じ上げていなかったのですが、長続きするのか、という個人的な意見はありますが、お金があればということもあるかと思っております。その問題は恐らく役場だけではなく、住民の人たちも含めて議論を続けていかなければならないかと考えているところです。

続きまして、もう1つのご質問で、養老 Pay の活用、町外からお金を持ってくるための手法として、他の電子決済との連動、連携の可能性についていかがでしょうか。

#### 【事務局】

先ほどの地域経済循環率の説明の中での繋がりかと思っております。こちらは地域経済循環率72.3%ということですが、約3割が町外へ出ており、養老町内のお金が残っていないということになります。まず、この仕組みを改善していかなければならないだろうということで、地域内通貨の消費を促進できれば、養老町内にお金が残るだろうということでございます。そういった取り組みのための地域通貨の1つでございます。

先ほど、町外からのお金の獲得というものが必要ということでご意見をいただきました。養老 Pay の利用者数でございますが、こちらについてはプレミアム付き商品券も含めての利用者数で、町外の方の利用が5,029名ということで約43%の方のご利用となっております。これまで、プレミアム付き商品券について4億円近く出しておりますが、43%の方がお使いいただいております。つまり、養老町外の方がプレミアム付き商品券を利用し確実に養老町内にお金が落ちるといった数字になりますので、そういった意味で町外からのお金の獲得に繋がっていると考えています。

#### 【委員長】

もう1点、その他の電子決済との連動というのはいかがでしょう。

#### 【事務局】

こちらにつきましては、民間事業者にて実施されている広域的に利用可能なペイシステムにおきまして、この地域内消費に直結するものではなく、養老町が今まで支援策として実施してきた養老町の財源でお配りしたものが近隣市町などに流れる可能性があると思っております。それらのことを考えますと、民間事業者にて実施されているペイシステムとの連携ということとは現時点で考えはございません。

**【委員長】**

ありがとうございました。その他ご質問などございますか。

**【委員】**

お薬手帳やヘルスケア関係の連携は機能的にできそうですか。例えば、デイサービスとの連携など、いかがでしょうか。

**【事業者】**

お薬手帳やデイサービスとの連携につきましては、詳細の内容を確認させていただく必要があるため、今すぐの回答はできません。健康通帳の他、色々な機能を追加しましたので、内容さえご確認させていただければきちんと対応はできているところがございます。現時点での回答としては以上でございます。

**【委員】**

お薬手帳は結構重要で、多分医療に絡んだ時の1番最後に医療費控除の申請で養老 Pay に一覧で表示されると便利かと思います。

EPARK との連携でデイサービスのスケジュール管理やお金の管理もできると町民は使いたいと思えると思います。私からは以上です。

**【事業者】**

お薬手帳の部分で、既にアプリは存在している認識はありますが、アプリと紙のお薬手帳両方とも取り込むのか、アプリだけ繋ぐのかというイメージ合わせをさせていただきたいです。どちらのお考えでしょうか。

**【委員】**

アプリです。養老 Pay で支払った結果、全て履歴として残り、お薬手帳として薬の内容も全部出てくる、そして最後は医療費控除申請まで連携ができると1番良いと思います。

**【事業者】**

技術的にはできるかと思いますが、アプリを提供している事業者様が対応できるかというところがポイントかと思います。EPARK のような全国的に展開しているお薬手帳が養老町様のためだけにその機能を開発するというような意思決定をしてくれるかどうか、今後、会話をしなければ分からないところです。対応してくれる事業者様もありますので、その辺りを見極めた上で対応できるということであれば検討を進めたいと思います。

**【事業者】**

弊社のグループで医療技術の研究所がありますので、そちらともコミュニケーションを取り、コンタクトができるか養老町様とご相談してまいります。

#### 【委員長】

ありがとうございます。新しい機能のご提案ということでご検討いただけたらと思いますし、また、電子カルテなどそういったところの絡みにもなるかと思います。様々な部署との連携が必要になると思いますので、今後拡大できたら良いというご提案でした。

### 協議事項（3）

#### 【委員長】

他にご意見・ご質問等がないようですので、以上で協議事項（2）「養老町におけるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みについて」を終了いたします。

続きまして、協議事項（3）「調査活動の報告について」説明をお願いします。

事業の評価・検証について、本年度、~~株式会社大垣共立銀行様、信州大学様にて~~調査業務を実施していただきました事業者。~~本日は、信州大学様より~~ご説明させていただきます。

#### 【事業者】

（資料2に沿って説明）

#### 【委員長】

説明が終わりました。何か質問等がございましたらお願いします。

#### 【委員】

1点目に、私自身養老町にずっと住んでいる中で、この調査に関して聞かれたことは一度もありませんが、養老町民の何パーセントにどんな調査をして、こういう結果が出るのかということを知りたいです。

2点目に、中長期的な提案というところでお話があり、AIなどがはやっているように思いますが、せっかく溜めたデータを利用しAI分析など様々な活用方法がAIにはあるかと思えます。特にヘルスケア分野でAI連携をし、各個人に健康促進を促せる分析結果を養老Payにて発信できるような機能として取り込めると良いかと思えます。その辺りの検討はいかがでしょうか。

#### 【事業者】

1点目のご質問について、回答者の属性ですが、イベント時に実施したということもあり、6割近くが町外の方のお声になっています。600件近くの回答をいただいております、そのうち4割が町内ということであれば、240名程度は町内の方の声になりますが、イベント時の現場にてアンケートを実施していただきましたので、町民全員ということにはなっていません。加えて、インタビューという形で30名ぐらいの方に時間を取っていただき、じっくり1時間ほどお話をお聞きしました。皆様1人1人の声が網羅しきれないところがありますが、できるだけ数を集めることが必要であったため、イベント時に調査をさせていただきました。

#### 【委員】

養老町民の約1割、さらにその約1割、1%ぐらいの方々にインタビューをしたという話

ですが、養老 Pay に込める思いが色々ある中で、本当にこのまま養老 Pay をこの課題解決に向けお金をかけてまで進め、本当に価値が出てくるのかが見えなかったためご質問させていただきました。町民が活用してもらえるものになるのだろうかということが少し不安です。実際に養老 Pay アプリ自体も今、沢山機能を持っているわけではないかとは思いますが、町民4分の1のダウンロード数で、残りの4分の3の人たちが本当にこれをダウンロードして課題解決に向けた機能が込められているのだろうかというところが見えなかったため、このまま進め、デジタル化というものが町民に好まれて使ってもらえるものなのだろうかということが分からず、ご質問させていただきました。その調査で問題ないのか疑問です。

#### 【委員長】

あくまでも一部の方々への調査なので、おっしゃるとおり全町民の意向がここに反映されているわけではなく、一調査としての調査報告です。私個人的にはかなり詳細にそれぞれ多くのデータが集まっていると思いますので、それをご参考に、今後、事業者の方々、役場の方々と連携し、~~そして信州大学の~~皆様と開発していくことができれば良いのかなと思います。まずは1つのスタートラインとしての調査として有効かと考えています。

もう1点、AIの活用についてはいかがでしょうか。

#### 【事務局】

少し冒頭での説明が不足しておりましたが、今年度、Smart Town YORO Project の事業内で、データ連携基盤というものを構築しております。まだまだ始まったばかりですので、データの蓄積についてはこれからでございます。まず健康活動や養老町の消費などのデータを蓄積していくということで準備を進めています。その上で、健康活動については実証的な事業ということで、限定的ではございますが住民の皆さまに対し事業を展開しております。そういったもののデータをどんどん蓄積し、今後検証していく段階に移りたいと考えております。その中で、AIとの連携についても検討していく必要性があれば、検討してまいりたいと思っております。

#### 【委員長】

健康情報のAI連携について、ヒアリングをしている中でAIを使って欲しいということよりも、溜まった健康データを自分に還元したいという方の声が多かったように思います。それに対し、どのように答えられるか、また、それをやるためにはお金がかかりますが、システムとしても発展しなければならないという前提があるので、どのようにバランスを取り、何から実施していくのかというところが大事かと思いました。

お時間となりましたが、最後にどうしても質問をされたいという方がいらっしゃればご質問を承りますが、いかがでしょうか。

では、私から最後に、~~今後、信州大学様のご報告につきましては、先ほどご指摘ありました。~~地域の方々のニーズをどう組み取り、これからの継続的な調査などに活かしていくことが出来るかを期待しています。また、個人的には、町内の事業者様のこれからの参画がどう図れるかが重要かと思えます。結局、この養老 Pay はアプリですので、アプリのコンテンツの充実化というのはやはり、事業者様の参画の数や量というところの進展、引いてはその流れとして利用者の拡大に繋がるかと思えますので、事業者様の参画というところを同時に考えていく必要があると考えた次第です。

## 協議事項（４）

### 【委員長】

以上で協議事項（３）「調査活動の報告について」を終了いたします。  
続きまして、協議事項（４）「今後の方針について」説明をお願いします。

### 【事務局】

（資料３に沿って説明）

### 【委員長】

説明が終わりました。何か質問等がございましたらお願いします。

特にご意見・ご質問がないようですので、協議事項（４）「今後の方針について」、賛成の方は、挙手をお願いいたします。

－全員挙手－

### 【委員長】

ありがとうございます。皆様挙手いただきましたので、この方針を持って進めていきたいと思えます。ご承認ありがとうございます。

次に協議事項（５）その他でございますが、事務局より何かご意見などございますか。また、委員の皆さまからその他何かご発言されたい方がみえましたらお願いいたします。

特に質問等ないということなので、最後に私から申し上げます。

この養老 Pay につきましては、養老町独自の新しいデジタル推進の事業としてこれからどんどん進めていく期待値が大きな取り組みだと思えますので、町民の方々により知っていただき、かつ、事業者の方々にも知ってもらえるということを期待しています。

また、役場だけではなく、やはり町民の方々の協力がかなり重要かと思えます。役場だけでなく町民の方々が一緒になり、アイデアを出し、事業者の方々もどんどんと新しい取り組みに挑戦していくという流れがこの養老 Pay の発展には重要かと思えますので、そういった流れを期待しつつ本日の会を終えたいと思えます。

では、進行を事務局へお返しいたします。よろしくをお願いします。

### 【事務局】

長時間にわたりご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

これをもちまして、令和５年度 第１回養老町地域消費活性デジタル化推進委員会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

閉会時刻 12時30分